

祇園祭と鉾と粽

入川 幹久

(2019 年度入学 鈴木ゼミ 3 期生)

伝統を 1000 年以上守っていることに興味があるので、祇園祭について調べた。

1 祇園祭の起源

今から 1100 年前の平安時代前期 869（貞観 11）年に、京で疫病が流行した際に当時の国の数にちなみ 66 本の矛を立て、神泉苑に祇園社（八坂神社）の神輿をおくり悪疫を封じ込む御霊会を行ったのが始まりであるとされている。その後、祇園御霊会と呼ばれ、この名が略されて祇園会と呼ばれるようになった。1467 年に応仁の乱で一時的に絶えたが、足利時代に町衆たちの祭りとして再興された。



2 祇園祭の名称

祇園社の興隆とともに祭礼の名前が祇園御霊会となり、次第に祇園会と呼ばれるようになった。祇園祭という名称になったのは明治維新による神仏分離令による。

3 粽とは？

粽という食べ物の方を思い浮かべるかもしれないが、祇園祭で粽という食べ物ではなく笹の葉で作られた疫病・災難除けのお守りであり、各山鉾にちなんだ御利益がある。毎年祇園祭の時にだけ、各山鉾のお会所や八坂神社で販売され、買い求めた人たちは一年間玄関先に飾るものである。

4 粽の由来

この粽は八坂神社の主祭神である午頭天王（スサノオノミコト）と関連がある。

昔、スサノオノミコトが旅で一夜の宿を求めたとき、貧しい蘇民将来が手厚くもてなしたことに對してのお礼として蘇民将来の子孫には疫病の厄を免れさせるための目印として茅の輪を腰につけさせたのが粽のおこりとされている。



なお、粽の護符には「蘇民将来之子孫也」と書かれてあり、蘇民将来の子孫なので守って下さいという意味がある。

5 粽のつくりかた

「わら」を「ささ」の葉で包んだ後、「いぐさ」でまいてながさ 40cm ほどに揃える。その後、木の型に入れて形を整えたうえで 10 本ずつに束ねると「粽(ちまき)」が出来上がる。粽は農家の人々が一つ一つ手作りで作成している。

6 鉾に携わる人たち

鉾には専門の技術者集団があり、鉾の檜を組み立てる手伝い方、鉾屋根を組み立てて大工工事等をする大工方、車輪を取り付ける鉾の動きを操作する車方を作事三役という。

手伝い方の構成員は頭以下 10 名前後、仕事は檜組・縄掛け・真木建てを行う。巡行においては、音頭取りを行う。



音頭取りは巡行中に二人が山や鉾の前面に立ち、扇子とかけ声で山鉾を曳く人に合図を出したり、辻回しの時には人数を 4 人に増やし雰囲気盛り上げる役目がある。

大工方の構成員は棟梁以下 7~8 名、手伝い方が檜組と真木建てをした後に、床・手摺り・柱・天井・屋根などを組み立てる。巡行においては屋根方を行う。



屋根方は巡行時には屋根に上がり、転落の危険を顧みず、すさまじい棒を用いて電線や電柱の障害物を押しのけ、安全な巡行の役割を果たす。

車方の構成員は長以下6名前後、組建て・飾り付けが終わった後に、車輪4ヶを取り付ける。巡行においては、車方を行う。(7~9名)*ご神体、懸装品、飾り金具などは町内の方々が取り付ける。

車方の長をサエトリといい、同名の7尺ばかりの細い棒を手にして指図する。副はカブラと呼ばれる先端のふくらんだ棍棒を持ち、車輪に噛ませてカジを取る。木製のテコ(4~5尺の桎の棒)を手にして車輪に入れる。カケヤ(桎などの堅木で作った大きな槌)を用いてブレーキをかける。また、カブラ・テコ・割竹は水を掛けて滑りをよくする。



7 鉾の種類

山鉾は5つに分類される。舁山(かきやま)、鉾(ほこ)、曳山(ひきやま)、船鉾(ふねほこ)、傘鉾(かさほこ)である。

①舁山の特徴

人が舁いて(担いで)巡行する山が舁山である。中国や日本の故事・謡曲などにちなんだ御神体の人形をのせる。御神体人形には橋弁慶山の御神体を除き朱傘が掛けられる。郭巨山のみ油紙の屋根が掛けられる。山の上には布で覆った籠を伏せて置き、「山」に見立て、そこから松を立てて疫病の依代とする。



例 前祭：山伏山・占出山・霰天神山・孟宗山・蟪蛄山・郭巨山・芦刈山・伯牙山・
白楽天山・油天神山・木賊山・太子山・保昌山
後祭：役行者山・鈴鹿山・八幡山・黒主山・浄妙山・鯉山・橋弁慶山・

②鉾の特徴

真木(しんぎ)と呼ばれる中心の柱を疫病の依代とする。本体は中心の柱である。それが大型化し、囃子方約50人や生稚児(長刀鉾のみ)や人形稚児をのせる形となったものである。真木の先端にはそれぞれの鉾を象徴するものが取り付けられている。

例 前祭：放下鉾・菊水鉾・月鉾・函谷鉾・長刀鉾・鶏鉾

③曳山

車輪を付け綱でひいて動かすなど鉾と似ている部分があるが、鉾との最大の違いは鉾の先端が松の枝になっている点である。

例 前祭：岩戸山

後祭：鷹山・北観音山・南観音山・



④船鉾

他の鉾との最大の相違点は、真木を立てない点である。形は船である。

例 前祭：船鉾

後祭：大船鉾



⑤傘鉾

踊りの列や囃子方が列をなして、鉾と一体で歩く。鉾にのことは出来ないが、鉾の古い形とされている。

例 前祭：四条傘鉾・綾傘鉾



8. キュウリを食べない

氏子と関係者は祇園祭の期間はキュウリを食べない。理由は八坂神社の神紋を食べるのは畏れ多いからである。八坂神社の神紋（神社特有の紋章）がキュウリの切口に似ているからだ。

以上のように祇園祭には山鉾の巡行があり、山鉾それぞれの粽があり、楽しみ方はそれぞれである。また、鉾の御朱印集めも楽しそうだ。私自身は函谷鉾の粽を購入し祖母に渡した。祖母に渡すととても喜んでくれたので、いつもお世話になっている人に渡す

のもおすすめである。ちなみに函谷鉾は京都産業大学の学生も携わっている。

また、個人的には祇園祭には不思議な力があると思っている。コンチキチンという音を聞くと心が浄化されたような気がした。私は四年生であるが卒業してからも参加したいと思う。

コロナで山鉾の巡行が行われていなかったが 2022 年に復活し、これからも疫病や天災などで中止されることがあると思うが、元はといえば疫病を鎮めるためにはじまったお祭りだ。各山町の人々がそれぞれの山鉾を役割分担して、築き上げ代々伝統を受け継いで、祇園祭を守り盛り上げていく。そんなところに私はいいなと思った。疫病などに負けずに、先人が守ってきた 1000 年を超える文化を今後 1000 年、2000 年と守っていきたいものだ。

参考文献：

https://www.kyoto-np.co.jp/feature/season/gion_history

<https://ja.kyoto.travel/event/major/gion/understand.php>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%87%E5%9C%92%E7%A5%AD>

<https://www.kbs-kyoto.co.jp/gion/06manabu/05.htm>

<https://www.kyotodeasobo.com/gion/chimaki/>

https://www.kankoboko.jp/about/hoko_setsumei_detail.php?id=19

<https://www.kbs-kyoto.co.jp/gion/06manabu/03.htm>

<https://www.kbs-kyoto.co.jp/gion/06manabu/07.htm>

<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20220629/2000062924.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%87%E5%9C%92%E7%A5%AD>

<https://onl.bz/X42XVpV>

<https://www.kbs-kyoto.co.jp/gion/sakiato/>

<https://kizinonakime.com/gionmatsuri-kyuri-tabenai-yurai-6124>

[第2回：粽選びは宵山の楽しみ | 京都観光情報 京都ツウ読本 \(kyototwo.jp\)](#)

[チマキの作り方 - 霰天神山 \(araretenjinyama.jp\)](#)

詳説 日本史 B 著作者 笹山晴生 佐藤信 五味文彦 高埜利彦 山川出版社

参考写真：

<https://onl.bz/ePDTPeJ>

<https://onl.bz/GFjJfxM>

<https://onl.bz/TDFuYsX>

<https://onl.bz/V3NZr4f>

<https://onl.bz/jCbLVFA>

<https://onl.bz/NCaU1Ax>

<https://onl.bz/aiwBJqN>

<https://onl.bz/87axk1K>

<https://onl.bz/YSzeYJf>

<https://onl.bz/J7sAQKH>

<https://onl.bz/nRkWHg1>

<https://onl.bz/yc1hq7v>